

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成31年1月31日(2019.1.31)

【公開番号】特開2017-118995(P2017-118995A)

【公開日】平成29年7月6日(2017.7.6)

【年通号数】公開・登録公報2017-025

【出願番号】特願2015-257240(P2015-257240)

【国際特許分類】

A 6 1 F 13/15 (2006.01)

A 6 1 F 13/49 (2006.01)

【F I】

A 4 1 B 13/02 T

【手続補正書】

【提出日】平成30年12月13日(2018.12.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 8】

< 第 1 実施形態 >

図 1 及び図 2 を参照すると、おむつ 1 0 は、縦方向 Y 及びそれに交差（直交）する横方向 X を有し、肌対向面及びそれに対向する非肌対向面と、ウエスト回り方向へ延びる環状の弾性ウエストパネル 1 1 と、弾性ウエストパネル 1 1 の肌対向面側に取り付けられた吸収シャーシ（吸液構造体）1 2 と、前ウエスト域 1 3 と、後ウエスト域 1 4 と、前後ウエスト域 1 3 , 1 4 間に位置するクロッチ域 1 5 とを含む。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 7】

吸液性コア 4 3 は、所要量の超吸収性ポリマー粒子とフラッフバルブとを混合したものであって、おむつ 1 0 を構成するシート部材に比して剛性の高い半剛性を有する。また、吸液性コア 4 3 は、縦方向 Y における中央部が幅狭状を有するパネル形態をなすものであって、その全体がティッシュ等の液拡散性シート 4 7 で包被されている。トップシート 4 4 とバックシート 4 5 は、吸液性コア 4 3 の周縁部から外側へ延出しており、該延出部どうしが互いに重ね合わされてホットメルト接着剤（図示せず）を介して接合されることによって、吸液性コア 4 3 の両側縁 4 3 C から横方向 X の外側に延出するサイドフラップ 4 8 と、吸液性コアの両端縁から縦方向 Y の外側に延出するエンドフラップ 4 9 とが形成される。